

教科	教科の課題 生徒の実態	具体的な授業改善策 補充的、発展的な改善内容	成果・課題
国語	<ul style="list-style-type: none"> 学習意欲や既習事項の定着において二極化の傾向がある。 話合いの内容を聞き取るのが苦手な生徒が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 1、2学年の復習を繰り返し取り入れながら授業を展開する。 話合い活動を通して、メモを取るよう指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の復習問題に意欲的に取り組む生徒が増えた。 話合いの内容を端的にまとめるのが苦手な生徒がいることが課題である。
社会	<ul style="list-style-type: none"> 学習に対する意欲やテストの結果において、二極化の傾向がある。 一部の生徒を除き、時事問題に対する興味関心があまり高くない。 	<ul style="list-style-type: none"> ペアワークなど協働的な学習を取り入れ、積極的に授業へ参加できるようにする。 時事レポートを課し、時事問題への興味関心を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 時事レポートや、授業内でニュースについて取り上げることで、時事問題への興味関心が高まった。 感染症対策により協働的な学習を十分に採り入れることができなかった。
数学	<ul style="list-style-type: none"> 前向きに取り組もうとしている生徒が多い。 学習意欲や習熟度の差が大きい。 基本的な知識や技能の習得に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 反復練習で基礎的・基本的な力を向上させ、全体的な学力の向上を図る。 根拠となる事柄を明確にして、それらを伝える力を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 反復練習により、基礎的・基本的な力の向上が見られた。 根拠となる事柄を明確にし、論理的に説明することが課題である。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 物理分野を苦手とする生徒が多い。計算が含まれる問題に特にその傾向がある。 授業に集中して取り組むことに課題のある生徒がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 既習事項の課題に取り組みせ、家庭学習で基礎学力の定着を図る。 過去の入試問題等の応用問題にも取り組みせ、発展的な問題にも慣れさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 復習の課題に積極的に取り組む生徒が増加した。 応用問題への取組が消極的で、過年度の入試問題等での得点力の向上が課題である。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 音楽に関心の高い生徒は個人で課題を見付け、練習を進めることができる。 パートによって練習状況に差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人練習の進め方、グループ練習の方法について理解させ充実を図る。 チームリーダーを活かして演奏をまとめる活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分のパートだけではなく、全体の練習状況を考えて協力することができた。 演奏意欲の個人差が、演奏成果に直接結びついていることが課題である。
美術	<ul style="list-style-type: none"> 授業に意欲的に取り組んでいる。 より良い作品づくりのために、考えたり工夫をしたりすることができる生徒とそうでない生徒に二分される。 	<ul style="list-style-type: none"> すぐに作品を完成したと考えるしまう生徒に対しては、参考作品を見せたり、考えるポイントを説明したりして、より良い作品づくりのイメージをもたせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 多くの生徒には、作品作りの在り方を伝えることができたが、一部の生徒にはできなかった。参考作品を少しずつためていき、イメージをつくらせていきたい。
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> 意欲的に取り組むことのできる生徒が多く、グループ活動などでは互いに高め合うことができる。 個々の生徒の体力に差が生じてきている。 	<ul style="list-style-type: none"> 教え合いなどを通して相互に技術や体力を高められるような活動を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教え合いを多くすることで個人の体力や技術を高めることができた。 単元によって意欲に差が出てきている。
技術	<ul style="list-style-type: none"> 授業や実習に意欲的に取り組んでいる。 抽象的な概念の理解に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> プリントの活用を充実させる。 プリントの内容を精査し、基礎基本的な学習内容を確実に定着させるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> プリントの内容を簡潔にし、わかりやすくしたことにより、学習意欲が高くなった。 プログラミングの抽象的な概念の理解が難しい。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> 話合い活動や事例研究などは意欲的に取り組むことができる。 自分の作品を丁寧に扱えない生徒が数人いる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の作品を丁寧に扱うように指導していくとともに、製作が苦手な生徒には個別指導を充実させる。 見本品の提示やICT機器の活用により、視覚的なイメージをよリモたせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 作品やレポート等を丁寧に扱うことができていた。 学習に対して意欲的に取り組めない生徒が数名いる。
英語	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的な文法事項の習得が不十分である。 話すことは比較的得意とする生徒が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 使用教材を繰り返し使い、4技能それぞれに特化した活動で定期的に復習の機会を設ける。 日々の話す活動や定期的なパフォーマンステストにより、自信をつけさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な復習の結果、生徒が主体性を発揮し、自ら応用問題に取り組むようになった。 年度当初と比較して自信をもって発表ができるようになった。